

P. R. KURENT委員会

委員長 山崎 寛太郎

[スローガン]

「繋がる力、伝える力」

[基本方針]

あなたは一年間の長さを、どのようにして測っているだろうか？

暦の上では1月1日からの12月31日までの365日を一年とするが、青年会議所においては、所属メンバーに与えられた役職がその年度ごとに変わってゆく単年度制という特徴があるので、それぞれに与えられた役務を果たす期間をもって「一年」と表現する。その地域で、地域に根ざした活動を行う青年会議所に所属して過ごす一年は、各自が地域で生き、また地域に生かされている事を実感する一年間とも言えるのである。

実感の多さは思いや愛着の多さとなり、次の世代、次の年へと繋がってゆく。呉青年会議所がこれからも地元から必要とされ続ける団体であるために、まず地域との繋がりをメンバーに沢山実感して貰える、そのような委員会をめざす。

どうしても伝えたい事柄がある時、あなたはどうするだろうか。メールを使って伝えるだろうか。はたまた、電話越しに言葉を尽くすのだろうか。多くの人は、直に相手に会って伝えようとするのではないだろうか。

当委員会の具体的な活動方針としては、呉および呉青年会議所活動の情報発信である。

本年度は地域の魅力と我々の活動を、より効果的に発信出来る場所へ実際に赴き、呉の魅力を五感で伝えてゆく。

また一方で、SNSやHPへの掲載といったインターネットを介した情報発信も、今日では一般的なものになってきている。本年度はそれらについても、より効果的な利用方法を模索してゆく。

それでは、呉の魅力をどのように発信してゆけば「おっ？」と振り向いて貰えるのだろうか。第三者が求める魅力は多岐にわたり、またその時々で流動的だ。だからこそ、我々が発信してゆく魅力もそれに合わせてゆくべきだ。揺るがないものでも、一過性のものでもよい。まず、興味をもって貰える手法を探し出す。呉を発信してゆくために、我々は外側からの視点を忘れてはならない。

活動してゆくにあたり、呉青年会議所、そして呉（KURE）から、かりそめに与えられた（RENT）かけがえのない機会を慢心する事なく活かすべく、当委員会の名前にKURENTを冠した。限られた一年を無駄にする事の無いよう、これをもって覚悟としたい。

〔事業計画〕

1. 事業名：2016年度総合広報ツール策定運用事業  
目的：公益社団法人呉青年会議所の活動、事業スケジュールなど幅広く情報を配信する。各公益目的事業活動を円滑に行う一助とする  
方法：HP、SNSを利用した情報の発信を行う  
各事業の告知・報告、事業計画・会員名簿の作成及び配布
2. 事業名：年間広報事業  
目的：各委員会の告知活動等を通し、募集活動の協力をを行うため  
方法：各委員会事業の広報を担当する  
各種メディア、各種団体窓口の連絡調整
3. 事業名：2月例会  
目的：委員会の年間ビジョンをメンバーへ提示し、より精度の高い事業実施を目指し、意識の統一を図る  
方法：年間事業計画のプレゼンテーションを行う
4. 事業名：呉魅力広域発信事業1（仮称）  
目的：呉青年会議所が実施する公益目的事業及び呉の魅力をPR  
方法：より魅力的な手法、効果的な出展先を選定した上で、ブースの出展等を通してPRを行う
5. 事業名：呉魅力広域発信事業2（仮称）  
目的：呉青年会議所が実施する公益目的事業及び呉の魅力をPR  
方法：より魅力的な手法、効果的な出展先を選定した上で、ブースの出展等を通してPRを行う
6. 事業名：9月例会  
目的：呉魅力広域発信事業（仮称）の検証を行い、広報に繋がる地域の魅力発信について学ぶため  
方法：専門家を呼び呉魅力広域発信事業（仮称）の検証を行う。同時に専門家が携わる地域の魅力発信について実践例を紹介してもらう
7. 事業名：事業報告書作成事業  
目的：年間の事業活動の成果を総括し検証するため  
方法：一年間の活動報告をもとに冊子を作成し、メンバー、特別会員、関係諸団体に配布する
8. その他